



平成30年2月23日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

松ヶ崎地域の方々各種団体やPTAの方々に、お世話になりまして、秋から冬にかけても、子どもたちに向けての取組を続けてられています。

第32回松ヶ崎『子どもフェスティバル』

11月3日(金)、今年も下鴨少年補導委員会松ヶ崎支部主催の『子どもフェスティバル』が開催されました。この会が開催されるまで、何度も会議をもち、子どもたちに楽しんでもらえるような企画を考えてくださいました。

おたのしみ抽選会は、当日午後2時より開始。食券の番号をみて、当たっていれば商品がもらえます。当選番号は、少年補導委員会会長の北川憲一さんに決めていただきました。

「金魚 もらえるかも」は、学校運営協議会理事の三宅照男さんが大切に育てられてきた金魚で、金魚すくいもさせてもらえる取組です。子どもたちは、自分の欲しい金魚をいただきました。

模擬店は、うどん・キャンディーフィッシング・たこせん・ジュース。
4年生以上の子どもたちは、「キッズスタッフ」としてお手伝いしました。

催しは、ゲームラリー・しめなわ作り・消防コーナー
PTA工作コーナー・下鴨署警察コーナー
フリーライミング・工織大学生さんコーナー
ストラックアウト(投球チャレンジ)

協力: 松ヶ崎小学校 PTA, 松ヶ崎体育振興会,
松ヶ崎社会福祉協議会,
松ヶ崎ネットワーク
松ヶ崎消防分団, 松寿会,
民生児童委員会
下鴨中地生連,
ボーイスカウト京都82団
松ヶ崎おやじの会, 下鴨警察署,
左京消防署 松ヶ崎シャークス,
工織大佐々木ゼミ



あたたかいうどんが人気でした。おだしのいい香りがしていました。おいしくいただきました。



キッズスタッフが積極的にお手伝いをしました。スタッフになるのも楽しいことです。



しめ縄用に、長い藁を用意していただいていた。しめなわづくり基本的なことが分かったと調子が出てきます。来年もつくろうと意欲的に取り組みました。たくさんのご準備ありがとうございました。



フリーライミング、最近、ニュースに取り上げられ、身近なところにお店があったりします。落ちないように壁の引っ張りを使って移動して、ゴールを目指します。



ストラックアウトは、的の数字をボールを投げてあてて、打ち抜きます。一つぐらいいは当たりますが、残りのところに命中させるのは難しいです。



かわいい金魚です。大事に育てていくことでしょう。



『里山ウォークラリー』

11月18日(土)雨のため、PTA主催の「里山ウォークラリー」は、室内での活動となってしまいました。

地元の猟師さんをお招きし、京都市内の自然や身近な野生動物のお話を聞きました。おやじの会の方々、PTA役員のみなさん、下鴨警察署、北山交番の警察官の方、京都工芸繊維大学の学生さんの皆さん…早くからご準備いただきありがとうございました。

《地元の猟師さんからのお話》

お話していただいた猟師さんは、同志社大学大学院総合政策科学研究科 兵田大和(ひょうだひろかず)さんです。

シカが増え、宝ヶ池の山林や農地が、被害にあっていることを、クイズを交えながら分かりやすくお話していただきました。シカを減らしていかなければならないことは、すぐに考え付くことです。しかし、生態系のピラミッドを崩すことなく、バランスが保たれるようにしなければならない事、シカを捕まえることやシカから作物を守る方法が人間にとって安全でなければならない事をクリアしたうえでやらなければならないことを教えていただきました。わなの種類も見せていただき、実際にどうして掛るのかをやってみせてくださいました。イノシシやシカは危険であるため、決して近づかないこと、また、わなやおりにも近づかない

こと等を教えていただきました。

ジビエ(野生鳥獣の肉)を使つての調理についても教えていただきました。シカの肉は、滋養強壮によいそうで、角やしっぽ、蹄、アキレス腱は漢方になるのだそうです。また、日本では、今よく食べているお肉は、100年前から食べるようになったとのことで、それ以前は、ニワトリ=柏(かしわ)、イノシシ=牡丹(ぼたん)、シカ=紅葉(もみじ)ウマ=桜(さくら)ウサギ=月夜(げつよ)を食べていたそうです。



元素の話

12月16日(土) 9:30~11:00 於: 特活ルーム

京都薬科大学名誉教授 元素周期表同好会

薬学博士 桜井 弘先生



今年も、元学校運営協議会理事 北野正彦先生のご協力のもと、京都薬科大学名誉教授 元素周期表同好会 薬学博士桜井弘先生をお迎えして、土曜学習『元素の話』を行いました。

初めに、読書企画推進委員の方からの読み聞かせです。科学関係の本に親しんでもらおうと科学読み物の読み聞かせをしていただきました。

読まれた本以外にも、科学読み物を何冊か並べていただき、あとで、手にとってみられるようにしていただきました。

元素の話は、今回で6回目となり、毎年参加している児童にとってはよくわかっていることもあります。ニホニウムのこと、太陽の温度の事、元素を調べたり作り出したりすることで人類

の役に立っていることなど分かりやすくお話ししていただきました。

後半は、元素に親しもうということで、「えれめんとランプ2」を楽しみました。やり方の分かっている人が進めていきました。エレメントとランプを合わせ考えられたカードゲームです。何度もこの学習に参加している子ども達は、初めて参加する子ども達に教えることもしていました。

